

平成 23 年度第 2 回若手研究者渡航助成による

“The 4th Asia-Pacific NMR symposium” 参加報告書

2011/10/26

横浜国立大学 大学院工学府 機能発現工学専攻
博士課程前期 2 年
田制 侑悟

第 2 回若手研究者渡航助成を受けて、平成 23 年 10 月 16 日から 19 日にかけて中国の北京で開催された“The 4th Asia-Pacific NMR symposium”に参加しましたので報告します。Asia-Pacific NMR symposium は 2 年に一回行われるアジア、太平洋を中心とした各国の NMR に携わる研究者が集まり、NMR の最新技術やそれを利用した成果を発表する国際会議です。本会議に参加した目的は自身の研究を発表し他の研究者と議論を交わす事と国際会議という場で海外の研究者の講演を聞くことによって NMR に関する知見を深めることでした。

私は本会議では「Microwave heating of liquid crystals under *in-situ* microwave irradiation solid-state NMR」という題目でポスター発表しました。発表内容はマイクロ波照射固体 NMR 装置の開発とマイクロ波による試料の影響に関するものでした。この研究は NMR プローブの試料管にマイクロ波を加えることによって短時間の温度ジャンプやマイクロ波照射したときの分子の変化を調べたものです。私のような装置開発について発表した方は少なかった印象を受けました。ポスター発表では幅広い分野の方に興味を持っていただき、これからの研究の指針に関わる重要な意見を聞くことができました。また海外の方と議論できたことも貴重な体験になりました。

研究の対象であり一番興味がある固体 NMR を中心に講演を聞きました。Timothy A. Cross 先生の固体 NMR による膜タンパク質の構造解析法など私にとって理解が難しい内容もありましたが、海外の研究者達の NMR を用いた様々なユニークな研究に触れることができ、NMR に対してあらゆる可能性を感じることができました。また、NMR について深く考える良い機会にもなったと思います。

今年度から博士前期課程に在籍していても本助成を受けられることになり、研究者としてまだまだ未熟なところある私が本渡航助成によってこのような有意義な学会に参加することができました。最後になりましたが、このような機会を与えてくださいました関係者の皆様に心から御礼申し上げます。